

セレンターフ[®] 顆粒水和剤

殺菌剤

萝 田

ラージパッチの予防と 治療に



殺菌剤

芝用

特 長

- 尿素系の接触型殺菌剤でリゾクトニア病原菌の生育阻止作用が強い薬剤です。
- 散布後の降雨による流亡が少ないので雨の多い時期の散布でも十分な効果が期待できます。
- リゾクトニア菌の侵入、進展に対して強力な阻止力を持つので長期間にわたり優れた予防効果を発揮します。(メゾステミック浸透)
- 紫外線による分解が少なく安定した効果が得られます。
- 発病後の散布でも強力な進展阻止力を示すため、散布以降の葉腐病(ラージパッチ)の進展を阻止します。 (治療効果)
- 葉腐病(ラージパッチ)に対して優れた残効性を有しており、一般的に40~50日の残効期間が期待できます。

セレンターフ顆粒水和剤の上手な使い方

葉腐病(ラージパッチ)の発生直前、または直後にセレンターフ顆粒水和剤0.5g/㎡を0.1~0.5ℓ/㎡の水量で均一に散布してください。

散布液が芝の葉鞘や地際部に付着すことで、以下の試験結果から安定した防除効果が期待できます。

■ 菌糸生育抑制と菌核発芽阻止

本剤の有効成分ペンシクロンは0.78ppmの低濃度でも 病原菌Rhizoctonia solaniの菌糸生育を完全に抑え、 また菌核の発芽を阻止します。

濃度	菌叢阻止率%	菌核発芽率%
Oppm	0.0	50.0
0.2ppm	46.0	38.3
0.78ppm	100	0.0
3.13ppm	100	0.0
12.5ppm	100	0.0
50.0ppm	100	0.0

■残効性

セレンターフ顆粒水和剤は散布30日後の調査でも防除価80以上の効果を示します。

■耐雨性

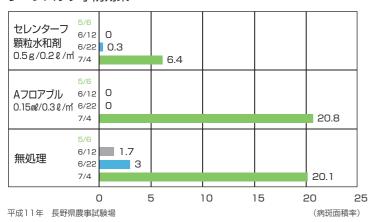
ペンシクロンを散布したポット稲に散布翌日に人工降雨装置で1時間あたり降水量40mm、雨滴粒経3mmを2時間処理。処理後から20日間にわたり所定時期ごとに病原菌を接種して発病状況を調べたところ、無降雨の場合に比べ、ほとんど防除価の低下は認められませんでした。他剤では降雨処理後10日目頃から効果の低下が顕著に認められました。

予防散布により防除するのが望ましいが、発生直後の散布でも効果が期待できます。

安定した効果と高い散布効率

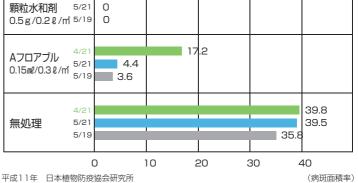
試 験 結 果

ラージパッチ予防効果



ラージパッチ治療効果

セレンターフ 4/2



平成11年 日本植物防疫協会研究所

■ 品種

■ 区制·面積

■ 薬剤処理

■ 調査

1区20㎡、2連制 5月6日

ノシバ

6月12日(散布37日後) 6月22日(散布47日後)

7月4日(散布2ヵ月後)

■ 備考

セレンターフのデータに ついては、モンセレン水和剤と

同薬量の読み替え。

■ 品種

■ 区制·面積

■ 薬剤処理

■調査

1区20㎡、2連制

4月21日

ウライシバ

4月21日(散布時) 5月12日(散布21日後)

5月19日(散布28日後)

■ 備考

セレンターフのデータに ついては、モンセレン水和剤と 同薬量の読み替え。

31.9

散布タイミング

■ 葉腐病(ラージパッチ)の各ステージとセレンターフ顆粒水和剤の散布タイミングの一例

発生初期のラージパッチ 赤褐色の帯が特徴

(コウライフェアウエイ 9月)



一度停止したラージパッチが 梅雨の低温で再活動

(コウライフェアウエイ 6月)



セレンターフ顆粒水和剤をすぐ散布してください。 散布2~3日後に赤褐色が薄まり、進展阻止効果が期待できます。 ラージパッチの激発

(コウライフェアウエイ 5月)



気温の上昇により自然回復 傾向のラージパッチ

(コウライフェアウエイ 6月)



セレンターフ顆粒水和剤の薬量0.5g/㎡を 確実に投下してください。

使用方法の目安

希釈倍率 (倍)	散布水量 (ℓ/㎡)	1,000ℓタンクで散布できる面積(㎡)	1,000 ℓタンク当りの セレンターフ顆粒水和剤の使用量
1,000	0.5	2,000	lkg(l袋)
600	0.3	3,333	1.67kg(1袋と2/3袋)
500	0.25	4,000	2kg(2袋)
400	0.2	5,000	2.5kg(2袋と1/2袋)





適用病害及び使用方法

// 	海田宇宝夕	使用量		/本四04世	大刘の侍田同数	体田士壮	ペンシクロンを含む
作物名	適用病害名	薬量	希釈水量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	農薬の総使用回数
芝(日本芝)	葉腐病 (ラージパッチ)	0.5g/m²	0.1~0.5 l/m²	発病初期	6回以内	散布	6回以内

有効成分と性状

種類名	ペンシクロン水和剤
商品名	セレンターフ顆粒水和剤
有効成分	ペンシクロン…50.0%
性状	褐色水和性細粒
荷姿	1kg×10袋

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

	経口	ラット	LD 50 >5,000mg/kg	
人畜毒性(急性)	経皮	ラット	LD 50 >2,000mg/kg	
普通物*	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし	
	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし	
	コイ		LC ₅₀ >1,000mg/l (96hr)	
水産動植物に対する影響	オオミジンコ		EC50 >1,000mg/l (48hr)	
	藻類 (緑藻)		ErC50 950mg/l (0-72hr)	

↘効果・薬害等の注意事項

● 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合 は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

〉貯蔵上の注意事項

● 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所 に保管してください。

/!\ 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないように注意してください。
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣 などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんで よく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意して下さい。
- 粉末が眼に入らないように注意して下さい。眼に入った 場合は、直ちに水洗いしてください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 食べられません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業を しないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく 現世代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに ① 人の健康と福祉 ② 自然との共存 ③ 市場・社会とのパートナーシップ

を柱として様々な活動を実施しています。



● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



バイエル クロップサイエンス株式会社 エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5 【お客様相談室】0120-575-078 www.es.bayer.jp

お問合わせ先